



10月に入り、過ごしやすい日が続くようになりました。秋といえば、「芸術の秋」「スポーツの秋」「実りの秋」・・・たくさんの楽しみがある季節です。秋は夜が長くなり、気候が良く、勉強に対する集中力が高まりますね。そんな秋の夜長には、読書も楽しんでみましょう。

《魔法の世界》 10月31日はハロウィン



『魔術事典「知」のビジュアル百科』

ダグラス・ヒル：著

魔法使いはどんなイメージですか？壁画や発掘された釘や鉢や文献から、魔法使いの役割や歴史を学べます。また、使っていた道具や今でも行われている儀式についても、絵と写真で紹介しています。

『クラバート』 プロイスラー：作

14歳のクラバートは粉屋の見習いになります。ところが、親方は魔法使いで、働く11人の仲間はその弟子でした。やがて、次々に起こる不可解な出来事などから、自分たちが恐ろしい代償を払わされていることを知り、親方に闘いを挑みます。

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩：著

中学生のまいは、西の魔女といわれる大好きなおばあちゃんから、ひと月あまり魔女の手ほどきを受けました。魔女修業の一番大事なことは、「なんでも自分で決める」ということだと言います。はたして、まいは魔女になれるでしょうか？

ハロウィンってどんな行事？

もともとは、イギリスの古代ケルト人が行っていた、秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す宗教的な行事でしたが、今では楽しいお祭りとして親しまれています。

なぜ仮装をするの？

魔物や魔女などに仮装することによって、人間の魂をうばいにくる悪霊に仲間だと思わせて身を守っていたといわれています。



川端康成 生誕120年

1968年に日本人では初めてノーベル文学賞を受賞した作家。

『雪国』『伊豆の踊子』『千羽鶴』など、作品多数。

『伊豆の踊子』 川端康成：著

20歳の私は伊豆の峠で、旅芸人の一行と出会い、一緒に旅をするうちに素朴な彼らに癒されます。特に無邪気に彼を慕う踊子の薫に魅かれていきます。淡い初恋でした。

10月27日
~11月9日
は読書週間



この本、読んでみませんか？

(図書委員 楓雅さんおすすめ)

『トム・ソーヤーの冒険』

マーク・トウェン：作

この本は少年トム・ソーヤーが、親友のハックとともに、大人顔負けのことをする話です。

二人で海賊生活をしたり、洞窟に入って町中の人を困らせたりします。現実では出来ないことが多く、男子なら憧れる人が多いと思います。また、トムとハックの絆が伝わってくる、とても感動する物語です。大人でも子供心を思い出し、大人にも子どもにも、とても面白い本です。まだ読んでいない人は、ぜひ読んでみてください。

